

地域とともに ★ 頑張る 葛高生

葛巻高校(梅津久仁宏校長、生徒122人)は、地域の皆さんとともに生きる力をも身につけるため日々学んでいます。6月の葛高生に注目しました。

6月16日、町長室を訪れ東北高校総体8位入賞を報告



6/14 東北高校総体陸上競技／女子走り高跳び 8位入賞 山本桜子さん

第69回東北高等学校総合体育大会陸上競技は6月14日、宮城県利府町の宮城県総合運動公園で行われ、女子走り高跳びに出場した山本桜子さん(3年)が1.57で自己記録を更新。インターハイ出場条件の6位以内入賞には惜しくも届きませんでした。8位入賞という素晴らしい成績を収めました。

6/13 本町出身で富士大学教授・鈴木晃彦さんの進路実現に向けた講話を聴く

全校生徒122人と町内の中学3年生50人は、本町出身で富士大学の鈴木晃彦教授から「未来学概論～生きることは呼吸することではない。行動することである～」と題した進路実現の講話を聴きました。

進路指導の達人として全国的にも有名な鈴木教授は「夢を実現するため時間を大切にしよう。高校3年間の努力が今後の人生に生きてくる」などと身振り手振りを交えて熱く語りました。



生徒の間近で熱く思いを語る鈴木教授(同校体育館)

6/2 保護者とともに交通安全街頭指導を行う

生徒会と生活安全委員の生徒は、PTA交通安全委員の保護者とともに、茶屋場交差点と学校の校門前で登校時の交通安全街頭指導を行いました。

同委員の中村繁之さん(3年)は「自転車の交通ルールを守っていない人も見受けられたので、改善を呼び掛けていきたい」と意欲を示しました。



学校の校門前での交通安全指導

6/18 町の食改さんから昔から伝わる郷土料理を学ぶ

1年生38人は、町の食生活改善推進委員16人から郷土料理の調理方法を学びました。

「晴れ食・行事食」をテーマに、いなり寿司、煮しめ、山菜の天ぷら、山菜の白和え、へっちょこだんごの5品の調理に挑戦。生徒たちは食改の皆さんから手ほどきを受けながら手際よく取り組んでいました。

山下勇太郎さん(1年)は「初めての体験で難しかったけど、分かりやすい指導のおかげでおいしく作ることができました。葛巻の郷土料理をしっかり受け継いでいきたい」と充実した表情を見せました。



へっちょこだんごを作る生徒たち(同校家庭科室)

6/12 中学校の全生徒を招き東京芸術座による演劇を鑑賞

町内3中学校の全生徒138人を招き、芸術鑑賞会が行われました。今年の公演は、東京芸術座による演劇「夏の庭-The Friends-」。

少年3人と老人との交流を通じて、他人への思いやり、命の大切さ、世代の異なる者同士が語り合い記憶を語り継ぐことの大切さなど、感情豊かに表現した演劇に生徒らは静かに見入っていました。

演劇終了後、山下貴之さん(3年)は「友人や家族への思いやりを大切にしながら残りの高校生活を送りたい」と劇団の皆さんへお礼を述べました。



⑥東京芸術座による演劇の様子(同校体育館)
⑤生徒を代表しお礼の言葉を述べる山下さん

保育園児を対象にバイオリン教室

幼児教育の充実を目指す

町は、情操教育と併せて多様な経験により豊かな感性を養い、子どもたちのさまざまな可能性を見いだそうと、今年から町内4保育園の年長児を対象にバイオリン指導を取り入れました。

町がバイオリン10本を購入。今後、年長児全員に行き渡るように購入を進め、10月下旬に開かれる町連合音楽会での発表を目指します。教室は2週間に1度のペースで行われ、県弦楽研究会(亀谷由美子会長・会員12人)のメンバーが講師を務めます。

6月から各保育園を会場に本格的なレッスンがスタート。バイオリンの仕組みや姿勢、本体と弓の持ち方などを教わった後、弓を動かして「ラ」の音を出す練習を行いました。園児たちは初めて手にするバイオリンに目を輝かせながら、真剣に練習に取り組んでいました。

葛巻保育園の神谷侑良くん(5)は、「思ったより簡単に音が出せた。これからのレッスンが楽しみ」と満面の笑みを見せました。



園児一人一人に優しく丁寧に指導を行う県弦楽研究会のメンバー(江刈・五日市保育園の合同練習)

マイマイガ対策 大発生の抑制・軽減にご協力を

町内の一部の地域では、山沿いの木などに発生が多く確認されています。

住宅地周辺でできる駆除は次のとおりです。発見した際はできるだけ駆除し大発生の抑制・軽減にご協力をお願いします。

■幼虫(7月中旬まで)

マイマイガの幼虫が大きくなってきているので、薬剤の効果は低下しています。捕まえて殺し、土に埋めるか燃えるごみとしてごみ袋に入れて出してください。

薬剤で駆除する場合は、取扱説明書に従い、通行人や近くの住民に十分配慮するとともに、周囲に飛散しないよう注意してください。薬剤の種類は、使用場所で判断してください。

①家屋の壁などにいる場合

ガ用の殺虫剤(スプレー剤など)を使用する。農薬は壁などが変色したり、健康への被害の恐れがあるため散布しない。

②植物にいる場合

農薬(スミチオン、トレボンなど)を使用する。殺虫剤は、木や花などには散布しない。

■ガ・卵塊(7月上旬から)

飛来を減らすには消灯や誘虫性の低い照明(LEDなど)への交換が有効とされています。消灯する場合は、防犯面を十分検討して行ってください。

ガや卵塊を取り除くときは、マスクやゴーグル・手袋などを着用してください。

再点検!ごみの出し方

資源ごみ(カン、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装)は、リサイクルしますので、きれいな状態で出してください。

プラスチック製容器包装は、水ですすいで汚れがとれない場合は、燃えるごみとして出してください。



農林環境エネルギー課 ☎66-2111 内線143